



## 平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イデアインターナショナル  
コード番号 3140 URL <http://www.idea-in.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 正人  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長 (氏名) 松原 元成

TEL 03-5446-9505

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年6月期第1四半期の業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	1,445	5.8	△3	—	△9	—	△12	—
27年6月期第1四半期	1,365	—	48	—	21	—	9	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	△2.09	—
27年6月期第1四半期	1.65	—

(注)平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年6月期第1四半期	3,188	—	335	—	10.1	
27年6月期	3,089	—	352	—	11.0	

(参考)自己資本 28年6月期第1四半期 323百万円 27年6月期 340百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成27年6月期の期末配当については、当該株式分割前の実績を記載しております。

### 3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	6,332	6.0	260	4.5	211	28.7	201	94.7	34.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期1Q	6,087,000 株	27年6月期	6,087,000 株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	187,344 株	27年6月期	187,344 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期1Q	5,899,656 株	27年6月期1Q	5,667,416 株

(注)平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割についてのご注意)

当社は、以下の通り株式分割を行っております。  
平成27年7月1日付 普通株式1株につき2株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

平成28年6月期第1四半期累計期間(平成27年7月1日～平成27年9月30日)の業績は、前年同期平成27年6月期第1四半期累計期間の業績に比べて、売上は1,445百万円と79百万円の増収となりましたが、今期は戦略的に前期比10倍程度の広告宣伝費を投入しているため、経常損失は9百万円と30百万円の減益、四半期純損失は12百万円と21百万円の減益となりました。

売上については、インテリア雑貨において、キッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が好調に推移し、中でも「ホットプレート」は計画以上の売上を上げております。またトラベル商品ブランド「ミレスト」は平成27年9月にオープンしたトラベルグッズセレクトショップの新業態「トラベルスタイル パイ ミレスト 名古屋」も好調に始まり、「トラベルショップ ミレスト」5店舗もすべて好調に推移し売り上げを伸ばしており、売上高は1,445百万円(前年同期は1,365百万円)となりました。

利益については、前述の広告宣伝費の増加、また前期に比べて20円近い円安の影響による粗利率の低下などにより、営業損失3百万円(前年同期は48百万円の利益)、経常損失は9百万円(前年同期は21百万円の利益)、四半期純損失は12百万円(前年同期は9百万円の利益)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

住関連ライフスタイル商品製造卸売事業においては、前述の通り、ホットプレート等のキッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」やトラベル商品ブランド「ミレスト」など自社商品ブランドが好調に推移したことで、売上高877百万円(前年同期は835百万円)、営業利益は100百万円(前年同期は176百万円)となりました。

住関連ライフスタイル商品小売事業においては、トラベルグッズセレクトショップ「トラベルショップ ミレスト」を始め、インテリアセレクトショップ「イデアセブンスセンス」などが前期比売上を上回ったことで売上高564百万円(前年同期は530百万円)、営業利益は42百万円(前年同期は8百万円)となりました。

その他においては、売上高は3百万円(前年同期は0百万円)となりました。

今後、トラベル商品ブランド「ミレスト」の積極的な店舗展開と広告宣伝・Eコマース販売強化等により売上拡大を図り、また健康コーポレーショングループとのシナジーを最大限に活用することで、増収増益を果たす所存であります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は、3,188百万円(前事業年度末は3,089百万円)となり、99百万円増加しました。

流動資産は、2,831百万円(前事業年度末は2,726百万円)となり、104百万円増加しました。これは現金及び預金の減少(141百万円)等があったものの、商品及び製品の増加(194百万円)等があったことによるものであります。

固定資産は、357百万円(前事業年度末は362百万円)となり、5百万円減少しました。これは有形固定資産の増加(6百万円)があったものの、無形固定資産の減少(1百万円)及び投資その他の資産の減少(10百万円)があったことによるものであります。

流動負債は、2,522百万円(前事業年度末は2,377百万円)となり、145百万円増加しました。これは短期借入金の返済による減少(61百万円)等があったものの、支払手形及び買掛金の増加(220百万円)があったことによるものであります。

固定負債は、330百万円(前事業年度末は359百万円)となり、28百万円減少しました。これは長期借入金の返済による減少(23百万円)等があったことによるものであります。

純資産は、335百万円(前事業年度末は352百万円)となり、16百万円減少しました。これは利益剰余金の増加(964百万円)があったものの、資本剰余金の減少(976百万円)等があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年8月11日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	589	448
受取手形及び売掛金(純額)	655	654
商品及び製品	1,040	1,235
仕掛品	19	31
原材料及び貯蔵品	86	105
その他	335	356
流動資産合計	2,726	2,831
固定資産		
有形固定資産	160	167
無形固定資産	28	27
投資その他の資産	173	162
固定資産合計	362	357
資産合計	3,089	3,188
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	447	667
短期借入金	1,628	1,566
未払法人税等	4	—
引当金	24	23
その他	272	263
流動負債合計	2,377	2,522
固定負債		
長期借入金	277	253
リース債務	35	33
受入保証金	29	29
引当金	2	2
その他	14	12
固定負債合計	359	330
負債合計	2,736	2,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	58	58
資本剰余金	1,343	366
利益剰余金	△976	△12
自己株式	△82	△82
株主資本合計	342	330
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△2	△7
評価・換算差額等合計	△2	△7
新株予約権	12	12
純資産合計	352	335
負債純資産合計	3,089	3,188

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,365	1,445
売上原価	750	831
売上総利益	614	614
返品調整引当金戻入額	6	6
返品調整引当金繰入額	7	5
差引売上総利益	614	615
販売費及び一般管理費	565	618
営業利益又は営業損失(△)	48	△3
営業外収益		
為替差益	—	3
その他	0	0
営業外収益合計	0	3
営業外費用		
支払利息	10	6
為替差損	16	—
支払手数料	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	28	9
経常利益又は経常損失(△)	21	△9
特別損失		
その他	1	0
特別損失合計	1	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	19	△9
法人税等	10	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9	△12

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成26年7月31日付で、健康コーポレーション株式会社及び株式会社ジャパングヤルズS Cから第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金が75百万円、資本準備金が75百万円増加し、当第1四半期累計期間において資本金が175百万円、資本剰余金が1,186百万円となっております。

当第1四半期累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成27年9月29日開催の定時株主総会に基づき、繰越利益剰余金の欠損補填を目的として、資本準備金270百万円をその他資本剰余金に振り替えております。また、その他資本剰余金976百万円を繰越利益剰余金に振り替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	住関連ライ フスタイル 商品製造卸 売事業 (百万円)	住関連ライ フスタイル 商品小売事 業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への売上高	835	530	1,365	0	1,365	—	1,365
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	835	530	1,365	0	1,365	—	1,365
セグメント利益	176	8	185	—	185	△136	48

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス・店舗空間のコンセプト・デザインを企画する空間プロデュース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△136百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 平成26年2月に日本リレント化粧品株式会社と合併したことにより事業継承した「リレント化粧品事業」は、報告セグメントの事業区分上、「住関連ライフスタイル商品製造卸売事業」に含まれております。

当第1四半期累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円) (注)1	合計 (百万円)	調整額 (百万円) (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (百万円) (注)3
	住関連ライ フスタイル 商品製造卸 売事業 (百万円)	住関連ライ フスタイル 商品小売事 業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高							
外部顧客への売上高	877	564	1,441	3	1,445	—	1,445
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	877	564	1,441	3	1,445	—	1,445
セグメント利益又は損失(△)	100	42	142	—	142	△146	△3

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オフィス・店舗空間のコンセプト・デザインを企画する空間プロデュース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△146百万円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。